



# まじゆは

学校教育目標「心豊かな未来を創る 子どもの育成」

令和7年11月25日

小田原市立新玉小学校

校長 山田 明子

## 「協働的な学び・意見をつなぐ学び合い」

田畑栄一先生をお迎えし、11月13日「意見をつなぐ学び合い」をテーマに校内研究を行いました。この日は4年生だけ5時間目に授業があり、他学年は下校となりました。4年教室への移動中。下校しようとした5年生数名がちょっと遠くから「あれ？田畑先生じゃない？」（距離が近くなり）「うわー！田畑先生だ。田畑先生だ。」と歓声を上げました。ちょうど2年前の11月、当時3年生だった児童が田畑先生から国語の授業を受けました。一緒に給食を食べ、昼休みにドッジボールもして関わりを深めたのでした。田畑先生も当時のことを思い出し、「いや～、嬉しいですね。感謝、感謝。」とおっしゃいました。

今回は4年生国語「友情のかべ新聞」の授業提案がありました。全文シートを用いて、児童は自分の意見を一生懸命に発表しました。田畑先生からは、『担任と児童との温かい関係が感じられる』『個々のつぶやきを涵養する空気感がある』、とのお言葉と共に、今後につながるご示唆もいただきました。その後『協働的な学び・意見をつなぐ学び合い』授業づくりについてお話をうかがいました。その中で次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方について話をしてくださいました。

『好き』を育み、『得意』を伸ばす「当事者意識を持って、自分の意見を形成し、対話と合意ができる」これらをベースに検討が重ねられており、「他者との対話や協働」が重要になってくる、とのことでした。



本校の校内研究は、全担任が授業提案をしています。このあと1年生、3年生と提案が続きます。「どんな学習課題なら、子どもたちの思考を刺激するか？」これは、どの学習であっても一番の鍵になるところです。

学習の土台作りとして、本校は教育漫才を通して、ここ2年間「温かい関係性」づくりに取り組んできました。心理的安全性が育まなければ、温かいコミュニケーションは成立しません。田畑先生の個に応じた発言を認め「子どもの考えには全て理由がある！否定しない教育へ」という言葉を胸に、これからも日々の教育活動に取り組んでまいります。



## 大盛況！「あらたまフェス 2025」

11月1日「あらたまフェス 2025」が行われました。この「あらたまフェス」はコロナ禍を経て、令和5年に始まったイベントです。PTA本部主催ですが、保護者はフェスボランティアによる有志で成り立っています。子どもたちのために楽しい場を提供してくださり、ありがとうございました。

以下、参加団体をご紹介します。（敬称略）

【小田原愛児園】【新玉連合子ども会】【新玉小学校区青少年健全育成協議会】【新玉小学校放課後子ども教室】【新玉サッカークラブ】【AAAA ショップ（卒業生OB・OGによるブース）】

この他に職員・保護者のブースもあり、飲食や体験など多種多様なお店が並びました。当日の様子は学校ホームページからもご覧いただけます。



## お願い

○11月に入り、防災行政無線「ゆりかごのうた」の放送が午後4時に流れています。この時刻、天候によっては、外もまだ明るいですが、午後5時を過ぎると、あっという間に暗くなります。それでも、運動場の暗がりから、遊んでいる声が聞こえたり、トイレを借りに来たりする児童がいます。暗い道を子どもだけで歩かせるのは防犯上、望ましくないと考えます。ぜひ「暗くなる前に家に帰る」ことをご家庭でもお声がけください。

○市内小中学校では、インフルエンザによる学年・学級閉鎖が見られます。本校でも未然に感染を予防するため、一堂に会する行事は延期したり、リモートにしたりという対策を講じています。ご家庭でも「うがい・手洗い・睡眠（休養）・食事」を徹底することをいつも以上に努めていたくとともに、マスク着用も対策の一つとしてお願いします。